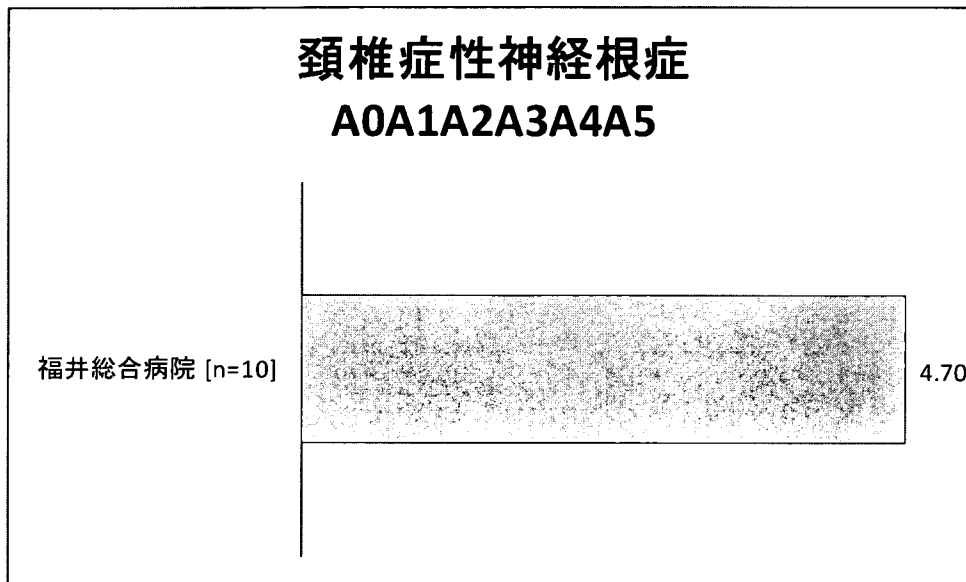
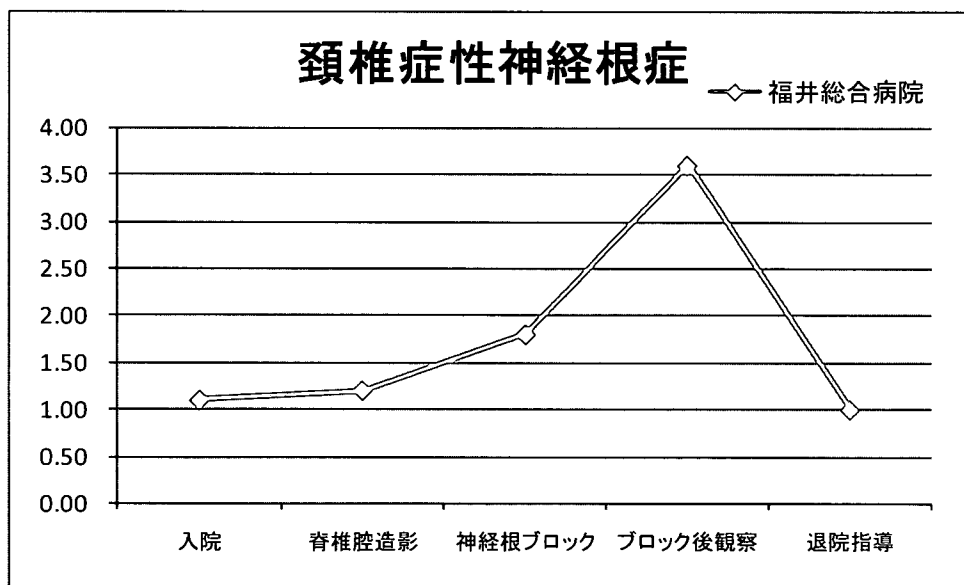


## 【中間集計】



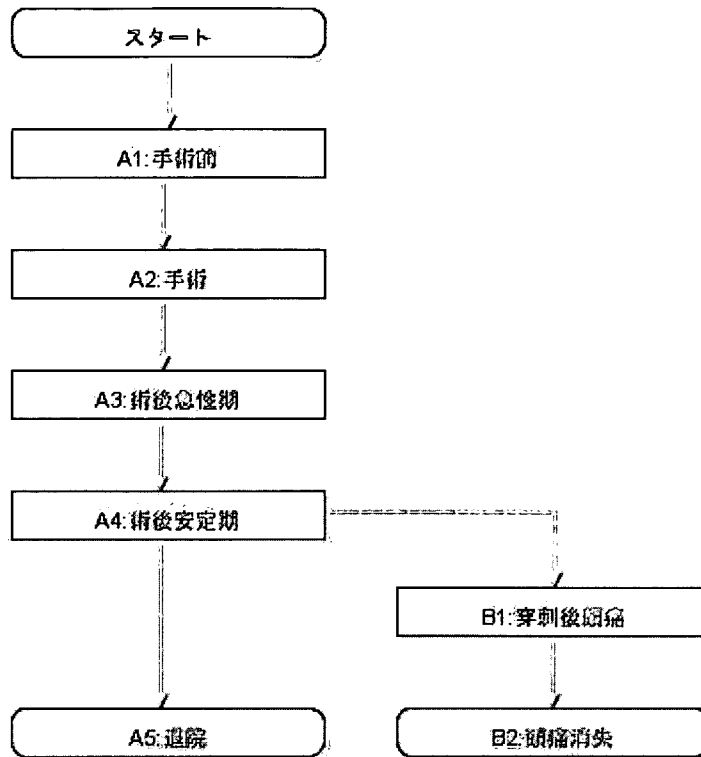
頚椎症性神経根症の平均在院日数比較



頚椎症性神経根症のユニット滞在日数比較

# 【中間集計】

下肢腰麻抜釘



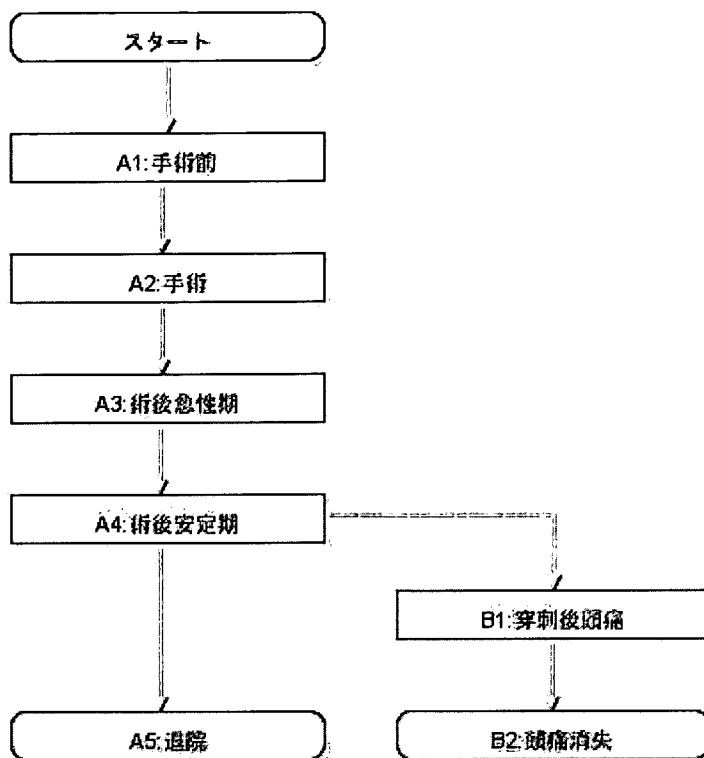
## 【中間集計】

### 移行ロジック一覧 下肢腰麻抜釘

2007年度

現ユニット	移行条件	移行先	ルート種別
A0:スタート		A1:手術前	
A1:手術前	手続き(同意書あり) and 物品準備(手術器械の確認)	A2:手術	
A2:手術	予定の手術が終了する	A3:術後急性期	
A3:術後急性期	バイタルサイン(血圧・脈拍・呼吸)が安定する and 麻酔状態から回復 (下肢の知覚・運動の回復and腸蠕動の回復)	A4:術後安定期	
A4:術後安定期	日常生活動作が可能となる 起立時頭痛の出現	A5:退院	
B1:穿刺後頭痛	頭痛が消失する	B1:穿刺後頭痛	並列
		B2:頭痛消失	

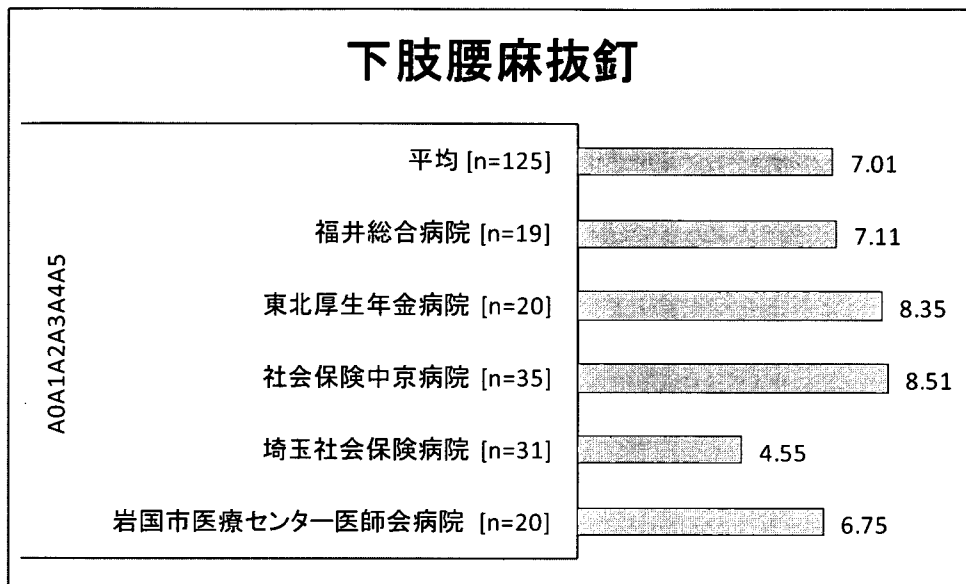
## 【中間集計】



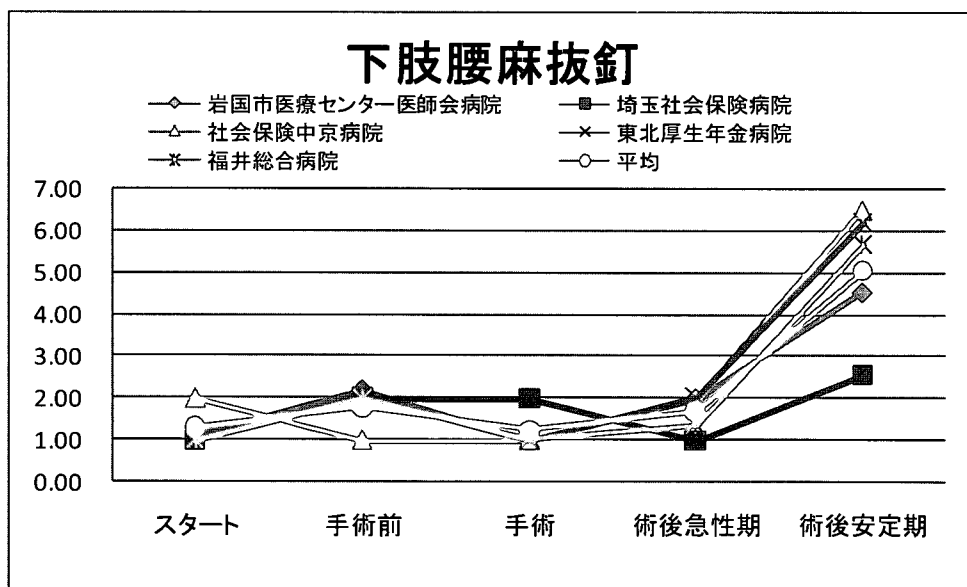
下肢腰麻抜釘の経路パターンとカバー率

パス	ルート	件数	%	カバー	カバー率
下肢腰麻抜釘	A0-A1-A2-A3-A4-A5	125	100.0%	○	100.0%
	計	125	100.0%		

# 【中間集計】



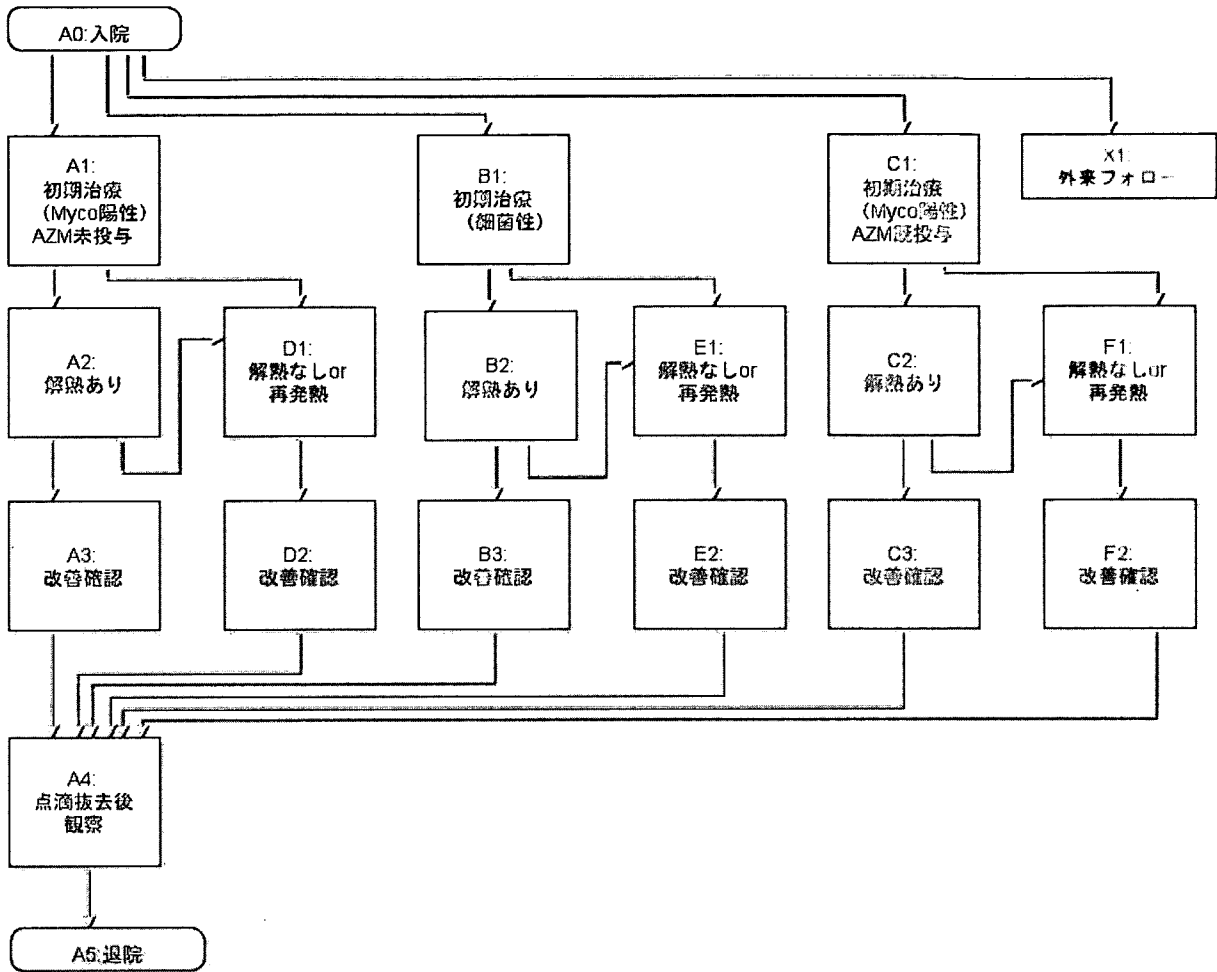
下肢腰麻抜釘の平均在院日数比較



下肢腰麻抜釘のユニット滞在日数比較

# 【中間集計】

## 4) 小児科 小児肺炎



# 【中間集計】

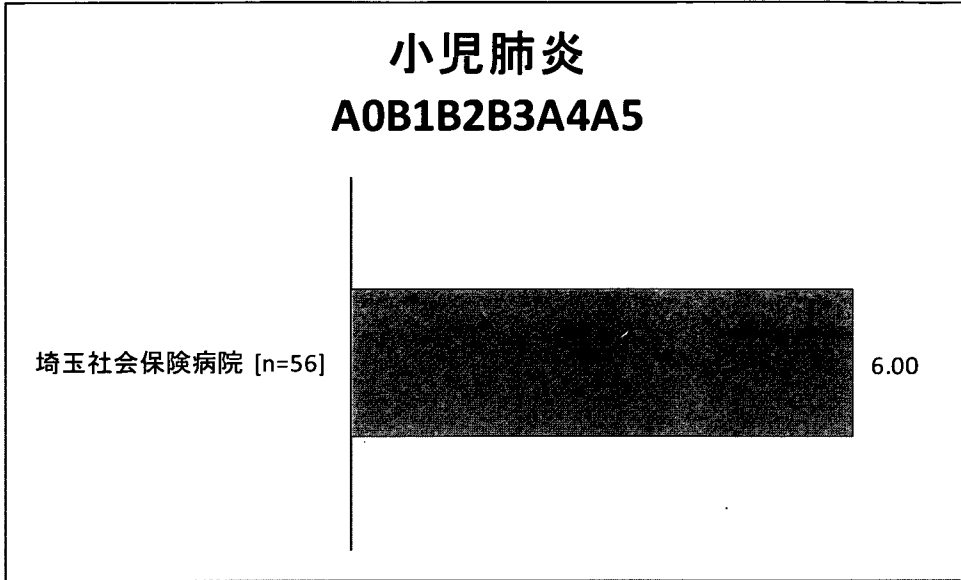
移行ロジック一覧

2007年度

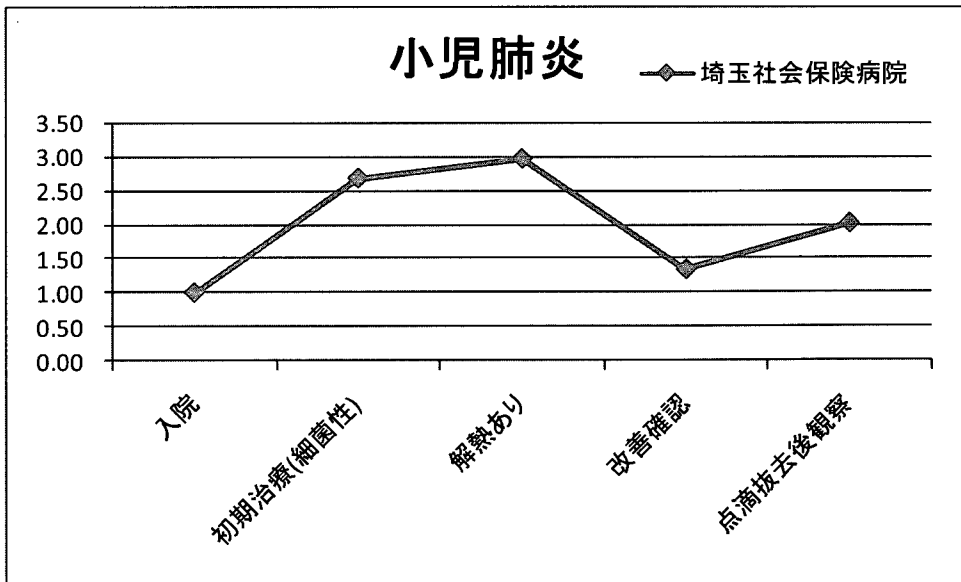
## 小児肺炎

現ユニット	移行条件	移行先	ルート種別
A0: 入院	(Myco-IgM(+)) or Age $\geq$ 6 and ジスロマック投与歴 (1W以内) なし	A1: 初期治療 (Myco陽性) AZM未投与	
	Myco-IgM(-) and Age < 6	B1: 初期治療 (細菌性)	
	(Myco-IgM(+)) or Age $\geq$ 6 and ジスロマック投与歴 (1W以内) あり	C1: 初期治療 (Myco陽性) AZM既投与	
	胸部X-p所見なし and 全身状態良好	X1: 外来フォロー	
A1: 初期治療 (Myco陽性)	体温 < 37.5°C and 体温 > 38.0°C	A2: 解熱あり D1: 解熱なしor 再発熱	
A2: 解熱あり	体温 < 37.0°C and 呼吸状態良好 and 体温 > 38.0°C	A3: 改善確認 D1: 解熱なしor 再発熱	
A3: 改善確認	CRPが改善(1mg/dl未満)し胸部Xpの所見が改善される or CRPが改善(入院時の1/2以下)し胸部Xpの所見が改善される	A4: 点滴抜去後 観察	
A4: 点滴抜去後観察	発熱および呼吸器症状の再燃なし	A5: 退院	
B1: 初期治療 (細菌性)	体温 < 37.5°C and 体温 > 38.0°C	B2: 解熱あり E1: 解熱なしor 再発熱	
B2: 解熱あり	体温 < 37.0°C and 呼吸状態良好 and 体温 > 38.0°C	B3: 改善確認 E1: 解熱なしor 再発熱	
B3: 改善確認	CRPが改善(1mg/dl未満)し胸部Xpの所見が改善される or CRPが改善(入院時の1/2以下)し胸部Xpの所見が改善される	A4: 点滴抜去後 観察	
C1: 初期治療 (Myco陽性)	体温 < 37.5°C and 体温 > 38.0°C	C2: 解熱あり F1: 解熱なしor 再発熱	
C2: 解熱あり	体温 < 37.0°C and 呼吸状態良好 and 体温 > 38.0°C	C3: 改善確認 F1: 解熱なしor 再発熱	
C3: 改善確認	CRPが改善(1mg/dl未満)し胸部Xpの所見が改善される or CRPが改善(入院時の1/2以下)し胸部Xpの所見が改善される	A4: 点滴抜去後 観察	
D1: 解熱なしor再発熱	体温 < 37.0°C	D2: 改善確認	
D2: 改善確認	CRPが改善(1mg/dl未満)し胸部Xpの所見が改善される or CRPが改善(入院時の1/2以下)し胸部Xpの所見が改善される	A4: 点滴抜去後 観察	
E1: 解熱なしor再発熱	体温 < 37.0°C	E2: 改善確認	
E2: 改善確認	CRPが改善(1mg/dl未満)し胸部Xpの所見が改善される or CRPが改善(入院時の1/2以下)し胸部Xpの所見が改善される	A4: 点滴抜去後 観察	
F1: 解熱なしor再発熱	体温 < 37.0°C	F2: 改善確認	
F2: 改善確認	CRPが改善(1mg/dl未満)し胸部Xpの所見が改善される or CRPが改善(入院時の1/2以下)し胸部Xpの所見が改善される	A4: 点滴抜去後 観察	

# 【中間集計】



小児肺炎の平均在院日数比較



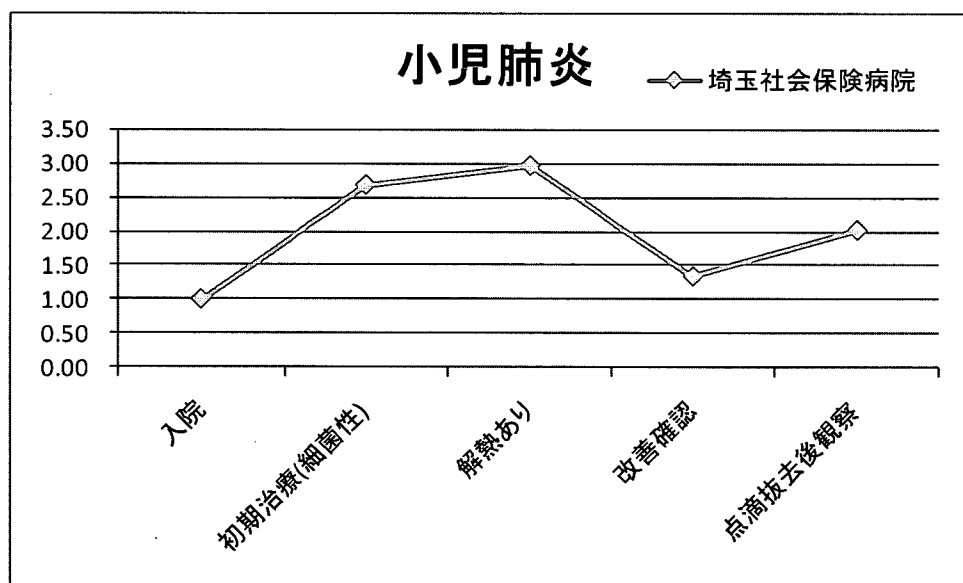
小児肺炎のユニット滞在日数比較



## 【中間集計】



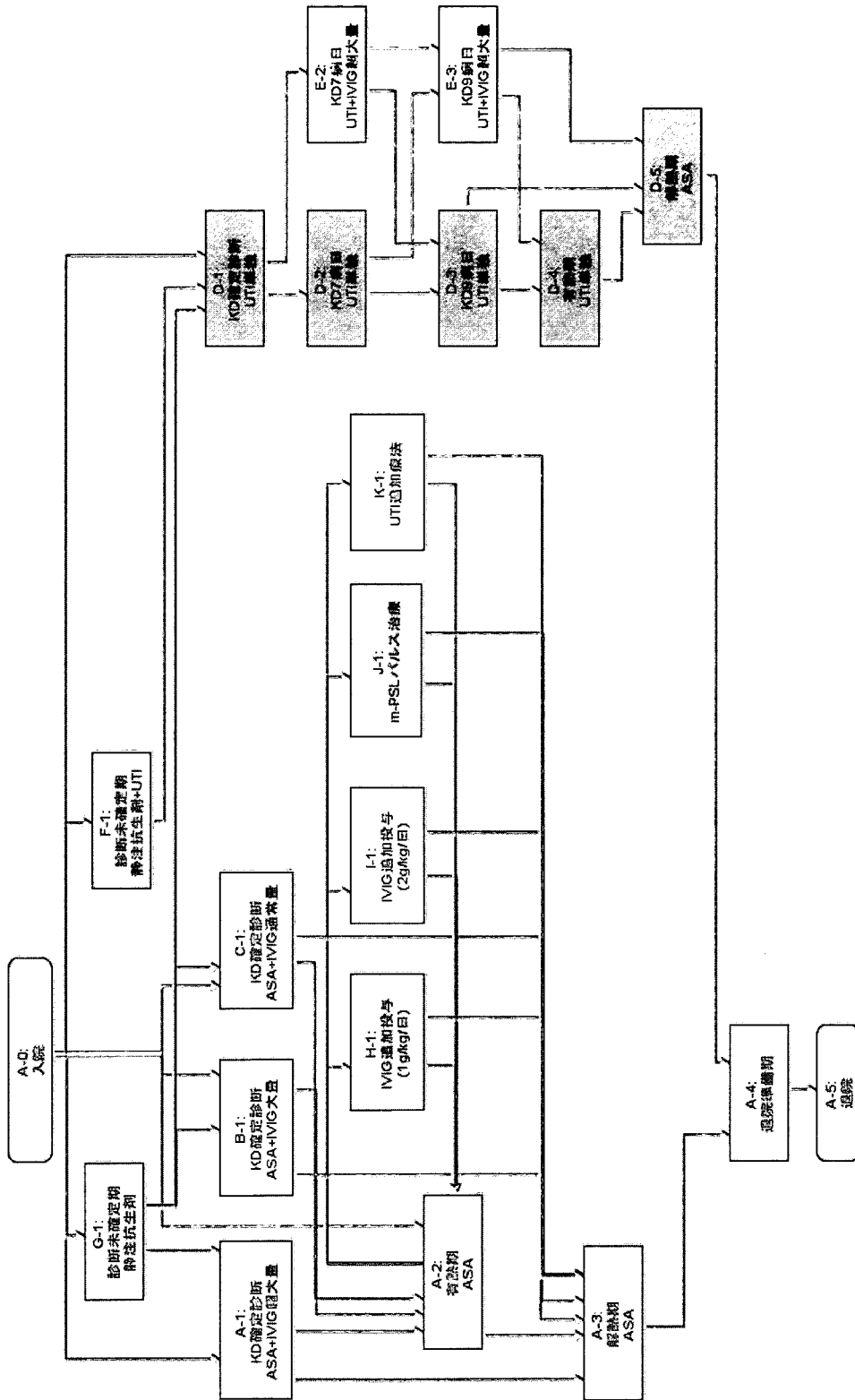
小児肺炎の平均在院日数比較



小児肺炎のユニット滞在日数比較

# 【中間集計】

川崎病



# 【中間集計】

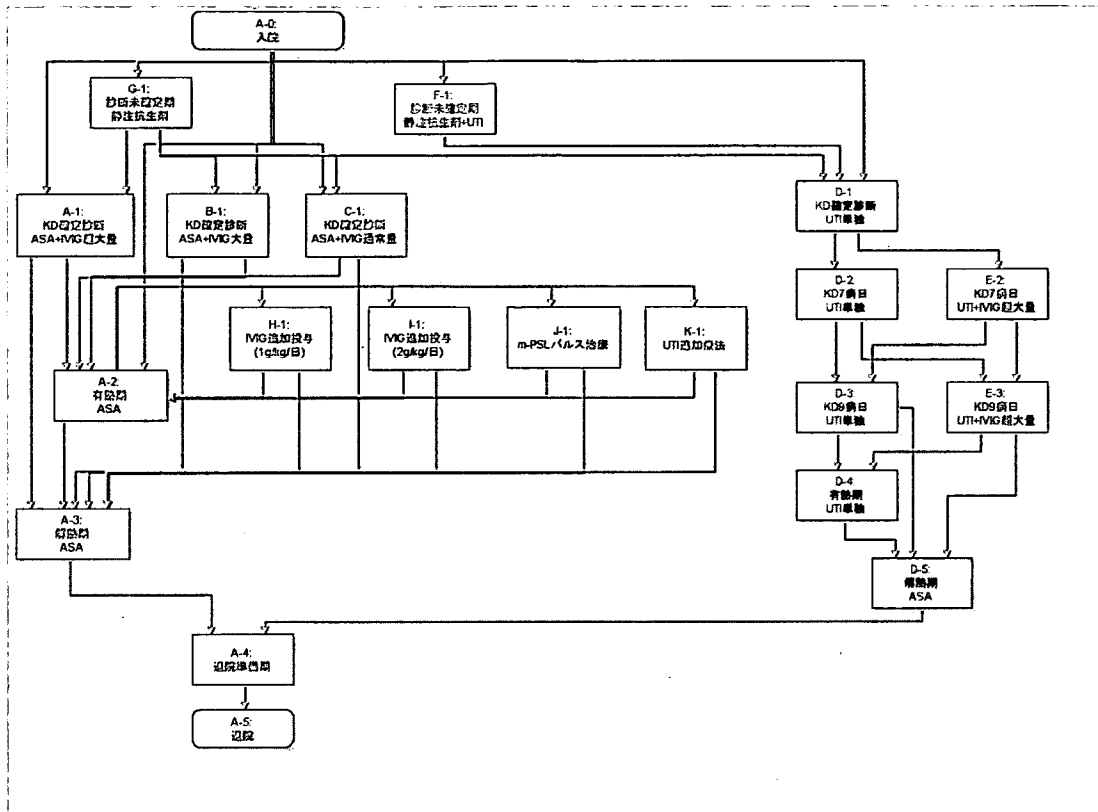
移行ロジック一覧

2007年度

## 川崎病

現ユニット	移行条件	移行先	ルート種別
A-0 : 入院	KD確定例 and 施設方針による治療選択	A-1: KD確定診断 ASA+IVIG超大量	
	KD疑診例 and 施設方針による治療選択 or KD軽症例 and 施設方針による治療選択	A-2: 有熱期 ASA	
	KD確定例 and 施設方針による治療選択	B-1: KD確定診断 ASA+IVIG大量	
	KD確定例 and 施設方針による治療選択	C-1: KD確定診断 ASA+IVIG通常量	
	KD確定例 and 施設方針による治療選択	D-1: KD確定診断 UTI単独	
	KD疑診例 and 施設方針による治療選択	F-1: 診断未確定期 静注抗生剤+UTI	
	KD疑診例 and 施設方針による治療選択	G-1: 診断未確定期 静注抗生剤	
A-1 : KD確定診断 ASA+IVIG超大量	IVIG療法終了時点で体温38℃以上	A-2: 有熱期 ASA	
A-2 : 有熱期 ASA	IVIG療法終了時点で体温38℃未満	A-3: 解熱期 ASA	
	A-2にて24時間以内に体温38℃未満	A-3: 解熱期 ASA	
	A-2にて24時間以降で体温38℃以上 and 施設方針	H-1: IVIG追加投与 (1g/kg/日)	
	A-2にて24時間以降で体温38℃以上 and 施設方針	I-1: IVIG追加投与 (2g/kg/日)	
	A-2にて24時間以降で体温38℃以上 and 施設方針	J-1: m-PSLパルス治療	
A-2にて24時間以降で体温38℃以上 and 施設方針	K-1: UTI追加療法		
A-3 : 解熱期 ASA	KD14病日から28病日の冠動脈病変なし	A-4: 退院準備期	
A-4 : 退院準備期	体温38℃未満 and 次回外来受診日説明済	A-5: 退院	
B-1 : KD確定診断 ASA+IVIG大量	IVIG療法終了時点で体温38℃以上	A-2: 有熱期 ASA	
C-1 : KD確定診断 ASA+IVIG通常量	IVIG療法終了時点で体温38℃未満	A-3: 解熱期 ASA	
	IVIG療法終了時点で体温38℃以上	A-2: 有熱期 ASA	
D-1 : KD確定診断 UTI単独	施設方針 (KD7病日の重症度スコア軽症)	A-3: 解熱期 ASA	
	施設方針 (KD7病日の重症度スコア重症)	D-2: KD7病日 UTI単独	
D-2 : KD7病日 UTI単独	KD9病日の最高体温38℃未満	E-2: KD7病日 UTI+IVIG超大量	
D-3 : KD9病日 UTI単独	KD9病日の最高体温38℃以上	D-3: KD9病日 UTI単独	
	KD10病日の最高体温38℃以上	E-3: KD9病日 UTI+IVIG超大量	
D-4 : 有熱期 UTI単独	KD10病日の最高体温38℃未満	D-4: 有熱期 UTI単独	
	体温38℃未満	D-5: 解熱期 ASA	
D-5 : 解熱期 ASA	KD14病日から28病日の冠動脈病変なし	D-5: 解熱期 ASA	
E-2 : KD7病日 UTI+IVIG超大量	KD9病日の最高体温38℃未満	A-4: 退院準備期	
	KD9病日の最高体温38℃以上	E-3: KD9病日 UTI+IVIG超大量	
E-3 : KD9病日 UTI+IVIG超大量	KD10病日の最高体温38℃以上	D-3: KD9病日 UTI単独	
	KD10病日の最高体温38℃未満	D-4: 有熱期 UTI単独	
F-1 : 診断未確定期 静注抗生剤+UTI	KD確定例 and 施設方針	D-5: 解熱期 ASA	
G-1 : 診断未確定期 静注抗生剤	KD確定例 and 施設方針による治療選択	D-1: KD確定診断 UTI単独	
	KD確定例 and 施設方針による治療選択	A-1: KD確定診断 ASA+IVIG超大量	
	KD確定例 and 施設方針による治療選択	B-1: KD確定診断 ASA+IVIG大量	
	KD確定例 and 施設方針による治療選択	C-1: KD確定診断 ASA+IVIG通常量	
H-1 : IVIG追加投与 (1g/kg/日)	KD疑診例 and 施設方針による治療選択	D-1: KD確定診断 UTI単独	
	IVIG追加投与終了時点で体温38℃以上	A-2: 有熱期 ASA	
I-1 : IVIG追加投与 (2g/kg/日)	IVIG追加投与終了時点で体温38℃未満	A-3: 解熱期 ASA	
	IVIG追加投与終了時点で体温38℃以上	A-2: 有熱期 ASA	
J-1 : m-PSLパルス治療	IVIG追加投与終了時点で体温38℃未満	A-3: 解熱期 ASA	
	m-PSLパルス療法終了時点で体温38℃以上	A-2: 有熱期 ASA	
K-1 : UTI追加療法	m-PSLパルス療法終了時点で体温38℃未満	A-3: 解熱期 ASA	
	UTI追加療法終了時点で体温38℃以上	A-2: 有熱期 ASA	
	UTI追加療法終了時点で体温38℃未満	A-3: 解熱期 ASA	

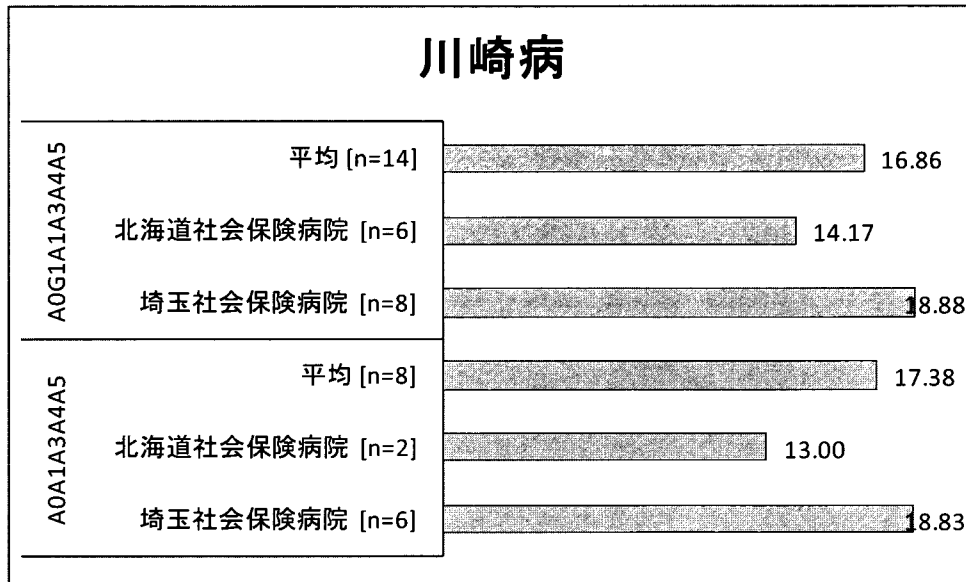
# 【中間集計】



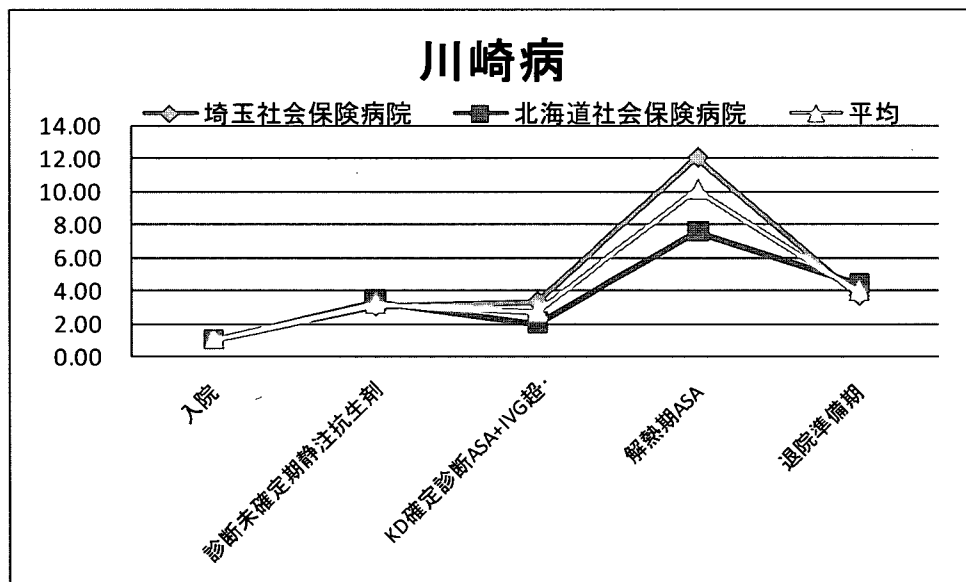
川崎病の経路パターンとカバー率

パス	ルート	件数	%	カバー	カバー率
川崎病	A0-G1-A1-A3-A4-A5	14	30.4%	○	65.2%
	A0-A1-A3-A4-A5	8	17.4%	○	
	A0-A1-A2-A3-A4-A5	1	2.2%	○	
	A0-A1-A2-H1-A3-A4-A5	1	2.2%	○	
	A0-A1-A2-I1-A3-A4-A5	1	2.2%	○	
	A0-A1-A2-K1-A3-A4-A5	1	2.2%	○	
	A0-G1-A1-A2-H1-A3-A4-A5	1	2.2%	○	
	A0-G1-A1-A2-J1-A3-A4-A5	1	2.2%	○	
	A0-G1-A1-A2-K1-A3-A4-A5	1	2.2%	○	
	A0-G1-D1-D2-D3-D5-A4-A5	1	2.2%	○	
	A0-G1-A1-A3-A5	5	10.9%	×	
	A0-G1-A1-A2-I1-A3-A5	4	8.7%	×	
	A0-G1-A2-A1-A3-A4-A5	3	6.5%	×	
	A0-A1-A3-A2-A3-A4-A5	1	2.2%	×	
	A0-G1-A1-A3-A2-H1-I1-A3-A4-A5	1	2.2%	×	
	A0-G1-A2-A1-A3-I1-A3-A4-A5	1	2.2%	×	
	A0-G1-A2-A3-A4-A5	1	2.2%	×	
	計		46	100.0%	

# 【中間集計】



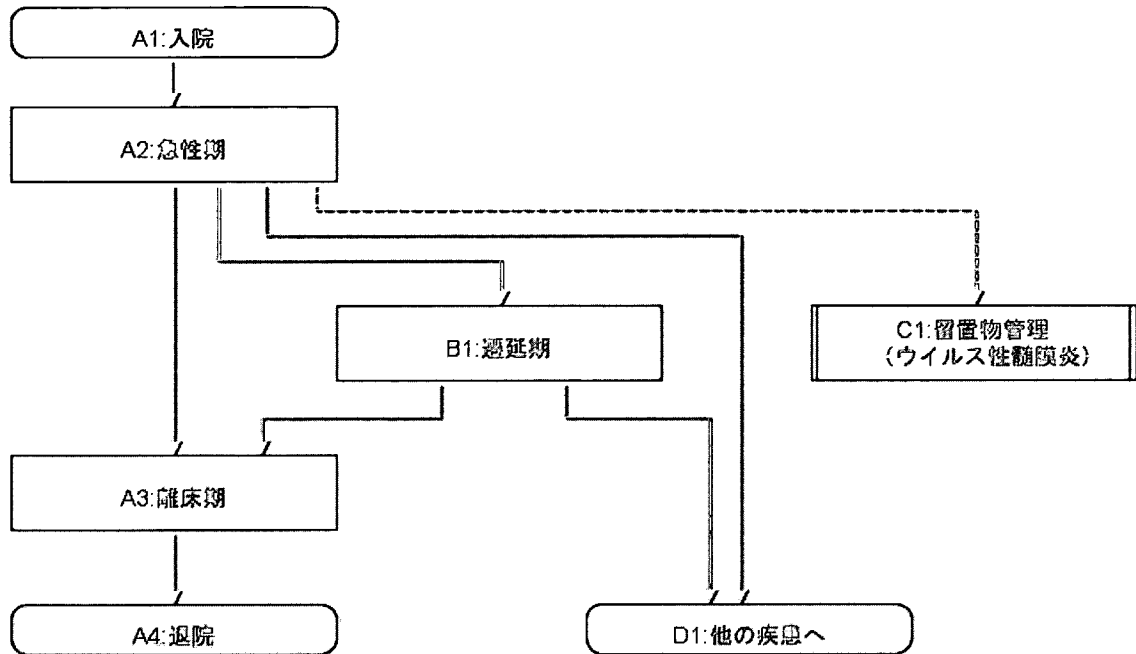
川崎病の平均在院日数比較



川崎病のユニット滞在日数比較

## 【中間集計】

### 5) 神経内科 ウイルス性髄膜炎



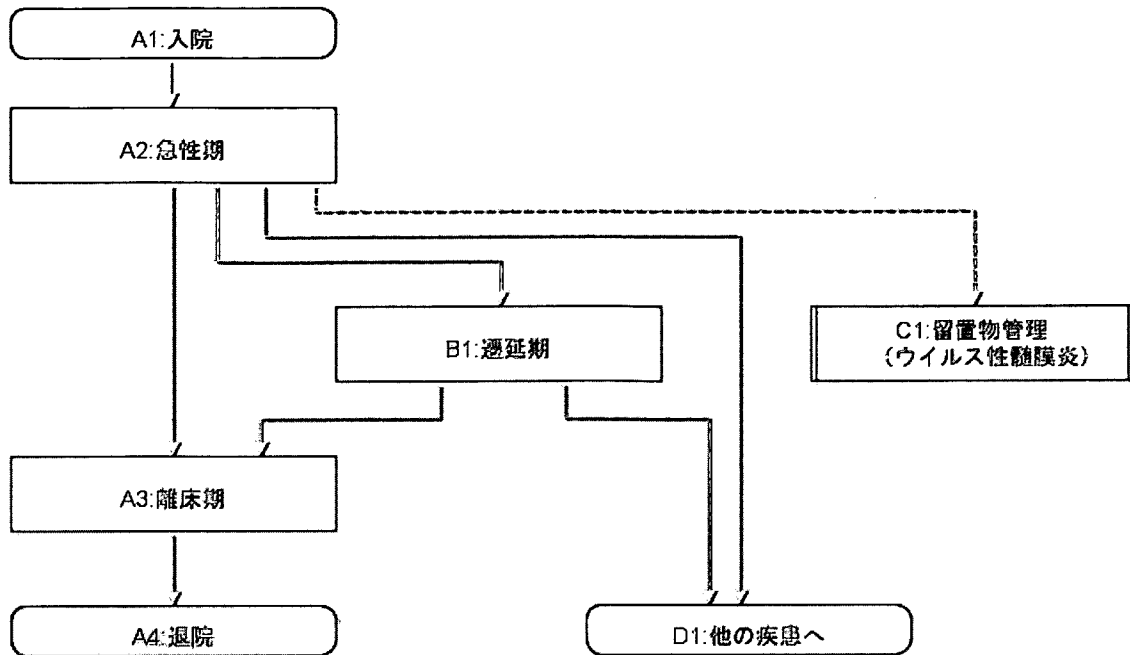
## 【中間集計】

### 移行ロジック一覧 ウイルス性髄膜炎

2007年度

現ユニット	移行条件	移行先	ルート種別
A1:入院	髄液検査で急性の髄膜炎が疑われる	A2:急性期	
A2:急性期	発熱の改善(体温のピークの下降) 体温のピークの低下(3日)が無い or 髄液細胞数の増多がみられる 痙攣・意識障害・麻痺など神経学的異常が出現した	A3:離床期  B1:遷延期  D1:他の疾患へ	
	頭痛のために座位が保てない(尿道バルンカテーテル留置) or 点滴の治療が必要	C1:留置物管理 (ウイルス性髄膜炎)	並列
A3:離床期	十分な食事摂取が可能 and 室内での日常生活が自立する(点滴の終了)	A4:退院	
B1:遷延期	髄液検査・血液検査で異常が無い or 髄液細胞数の減少 意識障害・痙攣の出現、血液検査・髄液検査で異常が検出	A3:離床期  D1:他の疾患へ	

## 【中間集計】

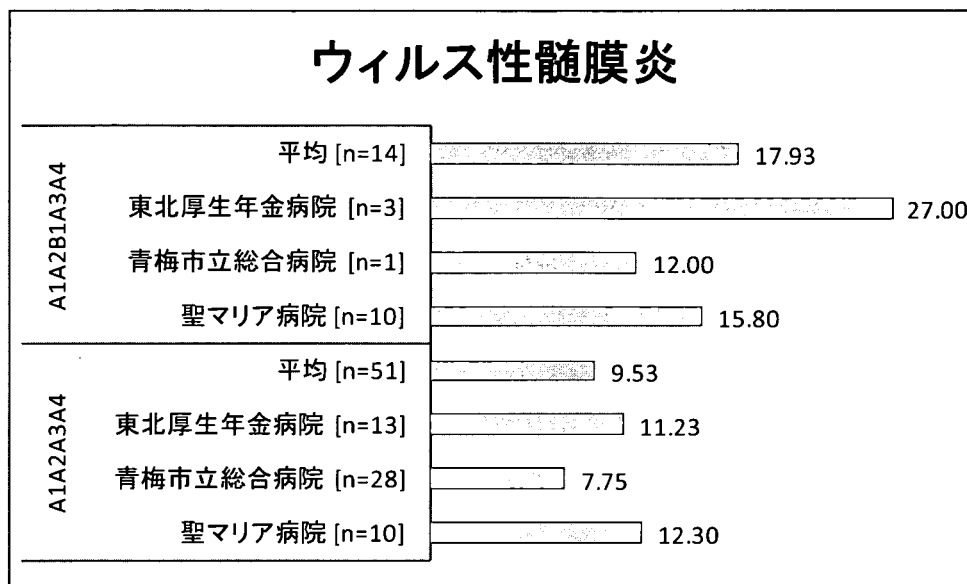


ウイルス性髄膜炎の経路パターンとカバー率

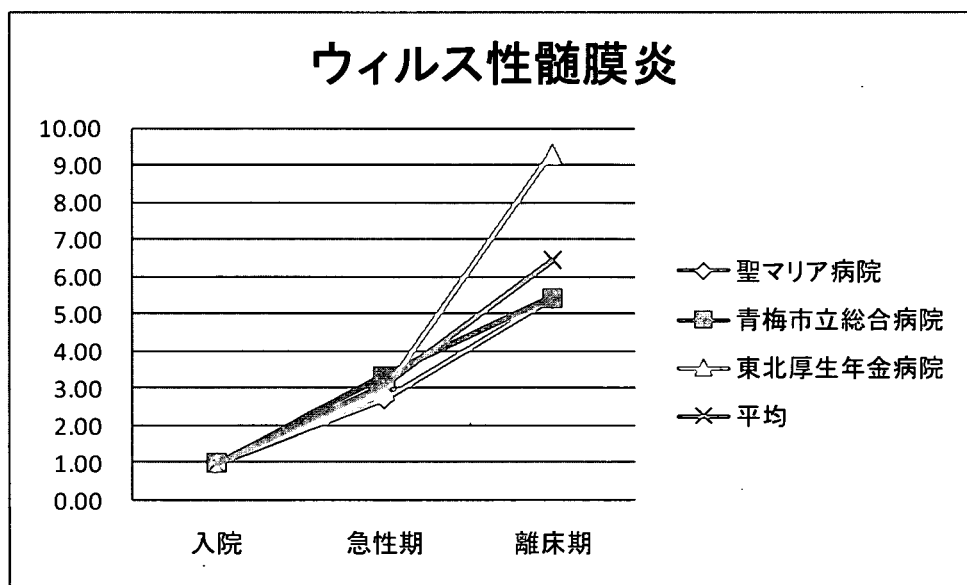
パス	ルート	件数	%	カバー	カバー率
ウイルス性髄膜炎	A1-A2-A3-A4	51	77.3%	○	100.0%
	A1-A2-B1-A3-A4	15	22.7%	○	
	計	66	100.0%		



## 【中間集計】



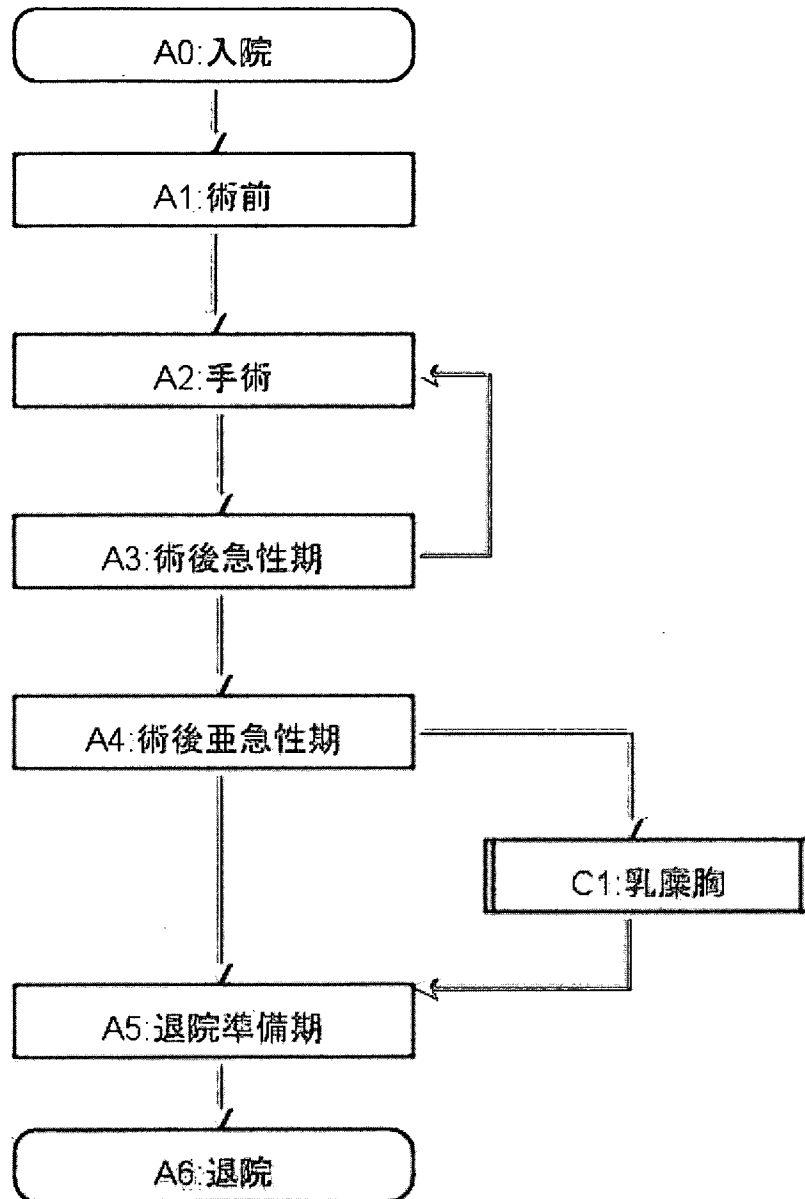
ウイルス性髄膜炎の平均在院日数比較



ウイルス性髄膜炎のユニット滞在日数比較

## 【中間集計】

### 6) 呼吸器外科 胸腔鏡下前縱隔腫瘍摘出術



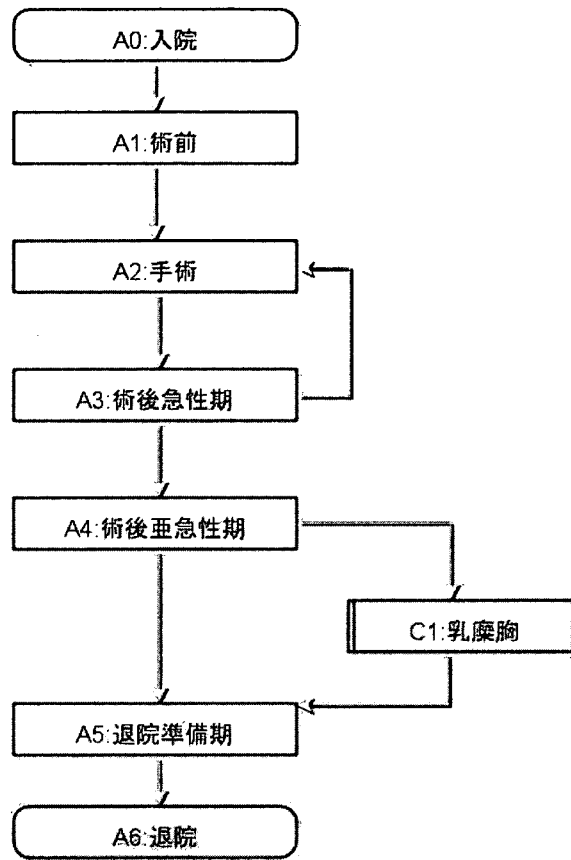
## 【中間集計】

### 移行ロジック一覧 鏡視下縦隔腫瘍摘出術

2007年度

現ユニット	移行条件	移行先	ルート種別
A0：入院	上気道感染等、手術に問題ない	A1：術前	
A1：術前	術前準備完了	A2：手術	
A2：手術	手術終了	A3：術後急性期	
A3：術後急性期	出血のため再手術が必要 回診時バイタル安定（経口摂取可能、歩行可能）	A2：手術	
A4：術後亜急性期	胸腔ドレーン抜去された（エアリークなし、出血なし、ドレーン排液200mL以下） 食事開始後、ドレーンより乳糜流出	A4：術後亜急性期	
A5：退院準備期	退院準備完了	A5：退院準備期	
C1：乳糜胸	乳糜が停止し、ドレーン抜去できた	C1：乳糜胸	
		A6：退院	
		A5：退院準備期	

## 【中間集計】



胸腔鏡下前縦隔腫瘍摘出術の経路パターンとカバー率

パス	ルート	件数	%	カバー	カバー率
鏡視下縦隔腫瘍摘出術	A0-A1-A2-A3-A4-A5-A6	40	100%	○	100%
	計	40	100%		